

平成26年度 東京藝術大学美術学部 科目等履修生(一般) 募集要項

特定の研究目的をもって、本学部開設科目の履修を希望する者に対して、授業及び研究に支障がない限り、本要項の定めるところにより、選考のうえ履修を許可する。

1. 出願資格及び履修範囲

- (1) 高等学校卒業以上の学歴を有する者。
- (2) 前項と同等以上の学力があると大学が認めた者。
- (3) 履修できる科目は、別紙開設科目のうちの3科目以内に限る。
- (4) 実技科目の履修は認めない。
- ※ 外国人志願者は、授業履修に支障のない日本語能力が必要である。

2. 募集人員 若 干 名

3. 選考方法 書類審査及び面接

4. 単位の認定 授業科目を履修し、所定の試験等を受け、合格した者には所定の単位を与える。
(同一科目の単位再加算はしない。)

5. 履修期間 1年間 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

6. 出願方法等

① 出願方法	郵便受付	
② 受付期間	平成25年11月25日(月)～平成25年12月16日(月) ※郵便局消印がこの期間内のもの。	
③ 提出書類	(1) 科目等履修生願書	本学部所定の用紙。
	(2) 最終学校の卒業証明書	本学部出身者は不要。
	※(3) 戸籍抄本1通(コピー可)	※ 改姓して証明書と現在の氏名が違う場合のみ提出。
	(4) 健康診断書	本学部所定用紙又は医療機関が発行する診断書で、所定の事項が記載されているもの。
	(5) 写真1枚	受付期間前3ヶ月以内に撮影したもの(縦4cm×横3cm)を願書所定欄に貼ること。
	(6) 検定料 9,800円	検定料の振込みについては、次項「7」をご確認下さい。
	(7) 小論文	履修希望科目ごとに研究の目的等を2,000字以内にまとめ、科目名、氏名を記載する。
	(8) 入学試験検定料振込金 受付証明書『C票』	検定料振込時に返却されたもの。 (氏名が記入され、収納印が押されたもの。)
	(9) 返信用封筒	角型2号封筒に住所・氏名・郵便番号を明記し、140円切手を貼ったもの。
④ 出願手続	<p>提出期限内に、『美術学部科目等履修生願書在中』と朱書し、書留郵便で送ること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【送付先】 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京芸術大学 美術学部教務係 </div>	
⑤ 面 接	履修希望科目担当教員が、それぞれに定める面接日時(別紙参照)に集合すること。	

7. 検定料の振込方法について

検定料：9,800円

この要項に添付されている検定料振込依頼書を使用し、下記の事項に従い、

平成25年11月25日(月)から平成25年12月16日(月)までに振り込んで下さい。

取扱金融機関	都市銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、農業協同組合、ゆうちょ銀行(郵便局) ※金融公庫では振り込みできません。
振込手数料	振込手数料をご負担ください。 ※三井住友銀行・本支店から振り込む場合は無料。
< 注意 >	① ATMでの振り込みはできません。金融機関窓口で納入してください。 ② 振り込みの際、返却されたB票、C票のうち、 C票(氏名記入、収納印のあるもの) を願書に同封して送付して下さい。(B票は本人控え)

8. 履修の決定及び入学手続

履修の可否及び入学手続については、3月中に大学から文書で通知する。

入学手続き	4月上旬予定		
納入金	入学手続時	入学料	28,200円
	入学後	授業料	1単位につき14,800円 (例;1科目4単位の場合/14,800円×4=59,200円)
※ その他の提出書類等については、大学からの通知文で指示する。			
※ 科目によっては、曜日・時限・テーマ等が変更されることがあるので、必ず履修科目を再確認すること。			

9. 注意事項

- ・願書受付後はいかなる理由があっても書類の変更・返還及び検定料の返還はしない。
また入学手続後は、入学料の返還はしない。
- ・この募集要項発行後に納入金額が変更された場合は、変更後の額による。
- ・平成25年度の時間割編成に伴い、科目によっては時間割等が変更される場合があるので、手続時に確認すること。
- ・履修を許可された科目でも、事情により履修ができない場合は、履修生の申し出により、これを取り消すことができる。ただし、納入済みの授業料等の返還はしない。
- ・外国人については、履修が認められても「留学」の在留資格には該当しないので注意すること。
- ・学生旅客運賃割引制度は適用されない。
- ・証明書の発行は申請のあった場合とし、履修後の3月31日以降となる。

【お問合せ】

TEL 050-5525-2134, 050-5525-2123
東京芸術大学 美術学部教務係

平成26年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

【上野校地開設】

科目名	西洋建築史 I・II	担当教員	野口 昌夫
<p><授業テーマ> 古代ギリシア, ローマの壮大な建築の基準となっていたオーダーがルネッサンス期以降になって再び力強く継承され, 古典建築の言語体系が再構成されていく過程をバロック期まで見届ける。 一方, キリスト教聖堂建築の流れとして, 初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスク, そして1000年以降のロマネスク, ゴシックに至る過程を追う。ルネッサンス建築以降は, その主流をなすイタリア建築に重点を置き, ブルネレスキ, アルベルティ, ミケロッツォから, ブラマンテ, ミケランジェロを経て, マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ, そしてバロック期のボロミーニ, ベルニーニ, グッリーニに至る作品を概観する。</p>			

科目名	日本・東洋建築史 I・II	担当教員	光井 渉
<p><授業テーマ> 江戸時代以前に日本列島で展開した建築と都市・集落について概観します。 講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し, 社会的・技術的な背景と共に代表的な建築作品等を紹介していきます。</p> <p>◆ 各回の内容(予定)</p> <p>I : ○日本の建築(ガイダンス)／○建築の誕生(原始住居)／○美意識の誕生(神社建築) ○技術と空間(飛鳥奈良時代の寺院建築1)／○空間の大型化と建築群(飛鳥奈良時代の寺院建築2) ○都市建築の理念(平城京と平安京)／○都市住宅の原形(御所と寝殿造) ○和様の感覚(平安時代の建築)／○災害と復興(重源と大仏様)／○禅宗の建築(禅宗様) ○中世的世界の建築(密教建築)</p> <p>II : ○舗設から部屋へ(中世住宅)／○もてなしの空間(座敷飾りと書院造) ○綺麗と数寄(茶室・数寄屋)／○戦乱と惣構(中世京都)／○権力の象徴(城郭建築) ○現代都市の誕生(城下町)／○町に暮らす(町並と町家)／○村に暮らす(農村と農家) ○専用住居の誕生(武家住宅)／○賑わいの空間(近世寺社境内)</p>			

平成26年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	美学演習	担当教員	松尾 大
<p><授業テーマ> 美学関係英語論文読解</p> <p><授業計画及び内容> 美学分野での英語論文を講読する。あらかじめ担当者を決め、訳稿を準備してもらう。 また、関連資料を多く読んでもらう。</p>			

科目名	美学史概説	担当教員	川瀬 智之
<p><授業テーマ> この授業では、西洋の美学の歴史を、古代ギリシャから現代のドイツやフランスに至る代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。 また場合によっては、それらの思想と、特に近現代の美術作品との関連についても論じていく。 それによって、西洋の古代以来の美学思想が、いかに芸術の制作や鑑賞に対して大きな影響を及ぼしてきたかを理解することができる。 年度終盤には、最近の美学思想の動向を紹介する内容の授業を行うことも考えている。</p>			

科目名	日本美術史特講	担当教員	佐藤 道信
<p><授業テーマ> 東京美術学校の歴史と展開</p> <p>東京美術学校は、戦後東京芸術大学美術学部となり、その設立は(1887年)から120数年を経た。多くの人材を輩出してきた同校(本学)は、日本の近現代美術の中心軸としてあり続けてきたが、一世紀を超えるその歴史には、幾多の変遷と変節があった。</p> <p>ここでは、特に戦前までの東京美術学校を中心に、ポイントとなる重要事項について見てみる こととする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設立の背景と経緯 2. 機構, 組織 3. カリキュラム 4. 人 5. 作品 6. 事件 			

平成26年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋美術史概説 I・III	担当教員	田辺 幹之助 / 佐藤 直樹
<p><授業テーマ></p> <p>この授業は、前期・後期を異なる担当者が行ないますが、履修生の皆様には「通年」授業としてお考えいただければと存じます。</p> <p>授業内容は、西洋美術の流れを概観するもので、各時代の表現の特質を主として様式的観点から理解することを目的とします。</p> <p>前期は中世美術を中心に、後期はルネサンス以降の美術を中心に取り上げます。</p>			

【取手校地開設】

科目名	美術解剖学A(取手)	担当教員	宮永 美知代
<p><授業テーマ></p> <p>人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。</p> <p>美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。</p> <p>人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。</p> <p>内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。</p>			

平成26年度 科目等履修生(一般)
対象開設予定科目及び面接日時

◆ 上野校地開設

科 目 等						面 接		
授 業 科 目 名	単位	担 当 教 員	曜 日	時 限	期 間	日 時	場 所	備 考
西洋建築史 Ⅰ・Ⅱ	4	野口 昌夫	月	Ⅲ	通年	1月10日(金) 16:30～	野口研究室	前期(Ⅰ)・後期(Ⅱ) を併せて受講すること。
							総合工房棟 4階 B-411 室	
日本・東洋建築史 Ⅰ・Ⅱ	4	光井 渉	金	Ⅲ	通年	1月20日(月) 10:30～	光井研究室	前期(Ⅰ)・後期(Ⅱ) を併せて受講すること。
							総合工房棟 4階 B-412 室	
美学演習	4	松尾 大	金	Ⅲ	通年	1月 8日(水) 10:30～	松尾研究室	
							中央棟 3階	
美学史概説	4	川瀬 智之	月	Ⅲ	通年	1月 6日(月) 15:00～	川瀬研究室	
							中央棟 3階	
日本美術史特講	4	佐藤 道信	月	Ⅱ	通年	1月16日(木) 13:00～	佐藤研究室	
							中央棟 3階	
西洋美術史概説 Ⅰ・Ⅲ	4	田辺 幹之助	火	Ⅲ	通年	1月14日(火) 13:00～	西洋美術史研究室	前期(Ⅰ)・後期(Ⅲ) を併せて受講すること。
		佐藤 直樹					中央棟 3階	

◆ 取手校地開設

科 目 等						面 接		
授 業 科 目 名	単位	担 当 教 員	曜 日	時 限	期 間	日 時	場 所	備 考
美術解剖学 (取手)	4	宮永 美知代	水	Ⅱ	通年	1月16日(木) 14:30～	美術教育研究室 (美術解剖学Ⅱ)	
							※上野校地 ※ 中央棟4F 406号	

《面接について》

※願書提出後、上記の指定日時に面接を必ず受けること。

※面接を受けない場合は失格とし、納入済みの検定料も返却しない。

【授業時間】

上野校地：Ⅰ限 9:00～10:30 Ⅱ限 10:40～12:10 Ⅲ限 13:00～14:30 Ⅳ限 14:40～16:10 Ⅴ限 16:20～17:50

取手校地：Ⅰ限 9:30～11:00 Ⅱ限 11:10～12:40 Ⅲ限 13:30～15:00 Ⅳ限 15:10～16:40 Ⅴ限 16:50～18:20

【教室場所】

上野校地：美術学部中央棟 1, 2階， 総合工房棟B棟

取手校地：専門教育棟

※ 授業時間割・講義内容等は予定であり、科目によっては、曜日・時限等が変更される場合もあるので、
入学手続き時に必ず確認すること。この際、履修を許可された科目でも事情により履修ができない場合は、
履修生の申し出により、これを取り消すことができる。

上野校地

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

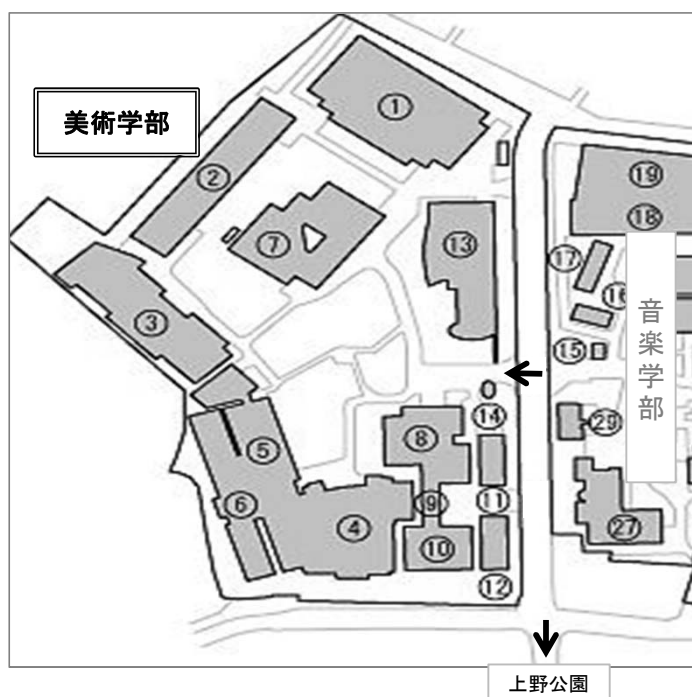


交通機関

【JR】 上野駅・鶯谷駅 …下車徒歩10分

【地下鉄】 銀座線・日比谷線 …上野駅下車徒歩15分、千代田線 …根津駅下車徒歩10分

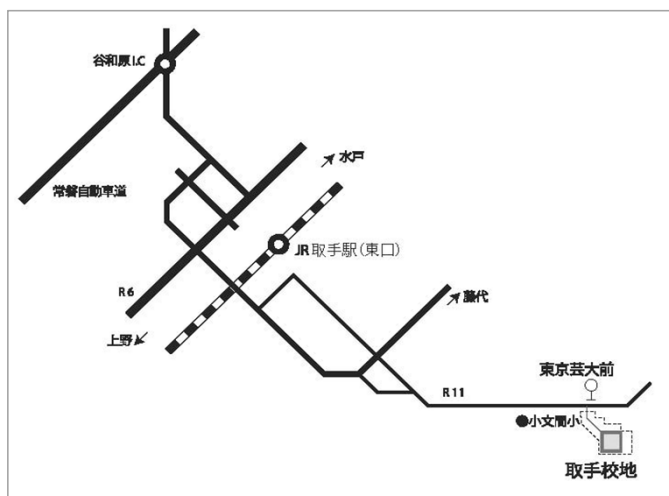
【京成電鉄】 京成上野駅 …下車徒歩15分



- ① 絵画棟
- ② 彫刻棟
- ③ 金工棟
- ④ 総合工房棟(A棟)
- ⑤ 総合工房棟(B棟)
- ⑥ 総合工房棟(C棟)
- ⑦ 中央棟
- ⑧ 附属図書館
- ⑨ 芸大アートプラザ
- ⑩ 旧芸大美術館
- ⑪ 陳列館
- ⑫ 正木記念館
- ⑬ 大学美術館
- ⑭ 守衛所

取手校地

〒302-0001 茨城県取手市小文間5000番地



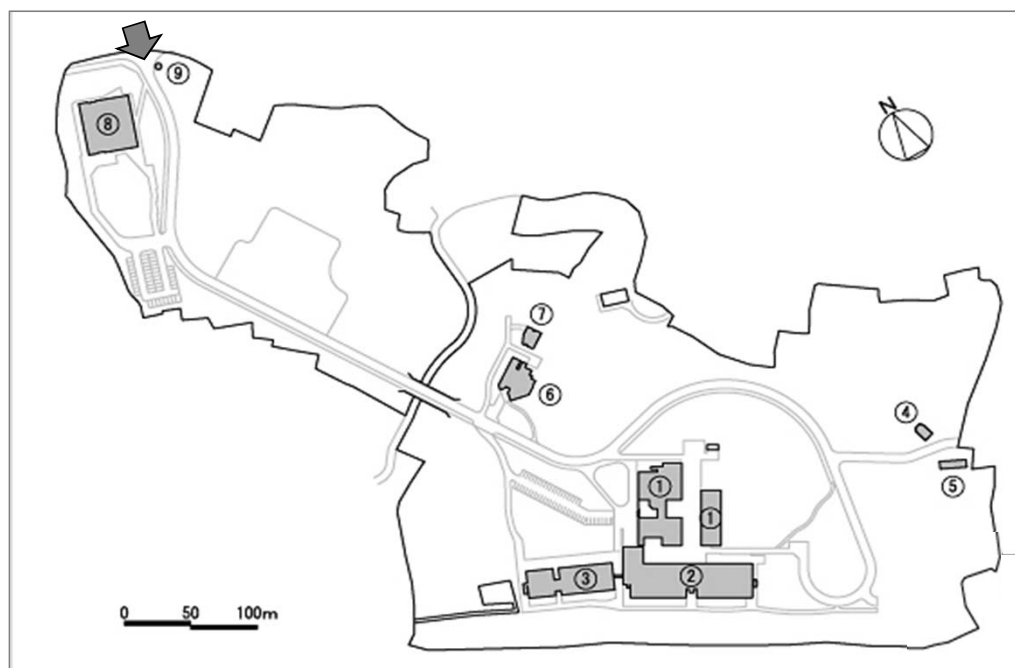
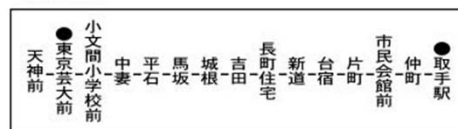
◆JR常磐線

上野駅→取手駅（40分）

◆取手駅より（取手駅東口バス乗り場）

・スクールバス：15分

・大利根交通バス：15分
「取手駅」→「東京藝大前」下車



- | | | |
|------------|---------|-----------|
| ①美術学部共通工房棟 | ④美術学部登窯 | ⑦短期宿泊施設 |
| ②美術学部専門教育棟 | ⑤野外制作場 | ⑧大学美術館取手館 |
| ③メディア教育棟 | ⑥福祉施設 | ⑨守衛所 |